

カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2008. 7- 1)

香川県水産試験場 北本

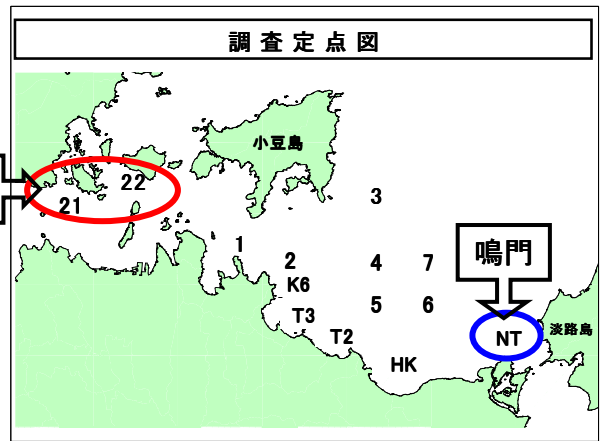
TEL: 087-843-6511

浅海定線調査結果

調査日: 7月2日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点



【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.7.4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	-	-	-	0.3	
2008.6.19	0	0	0	1	0	31	74	34	1	4	0	0	0	23	13.2	12.0
2008.7.2	3	58	7	2	44	37	2	15	0	5	3	0	0	509	16.0	48.9

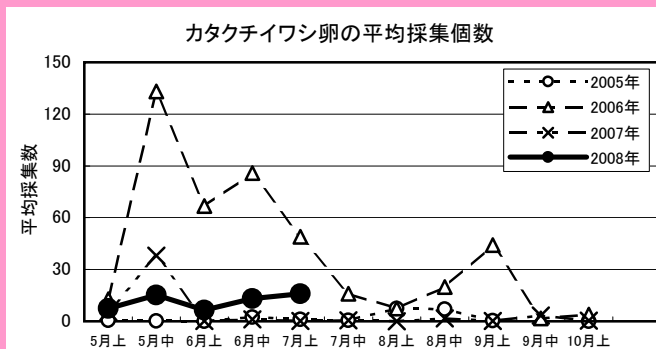
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.7.4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	-	-	-	0.2	
2008.6.19	0	0	1	4	0	3	1	0	0	1	1	0	0	1	1.0	0.9
2008.7.2	1	6	4	4	12	0	1	3	2	0	6	0	0	0	3.5	2.8

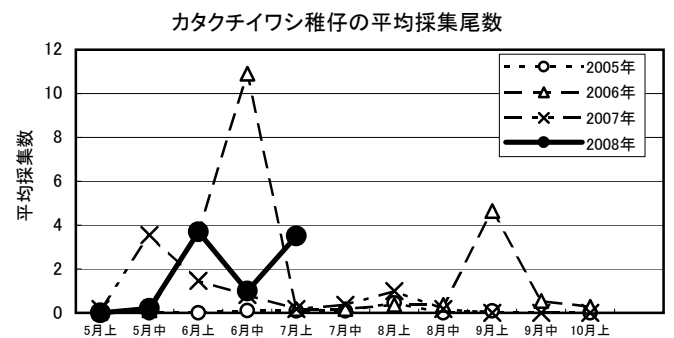
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

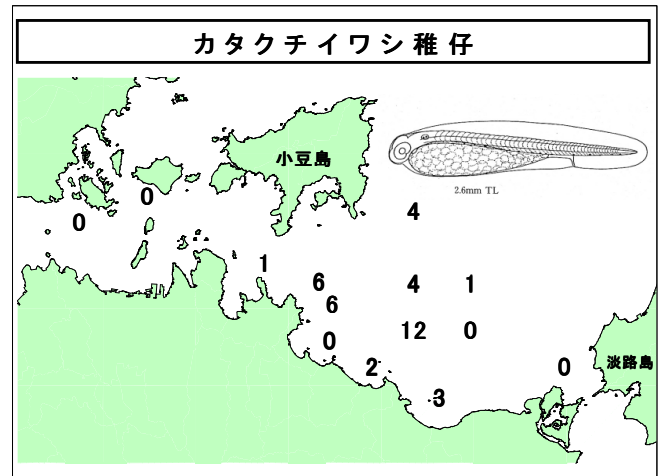
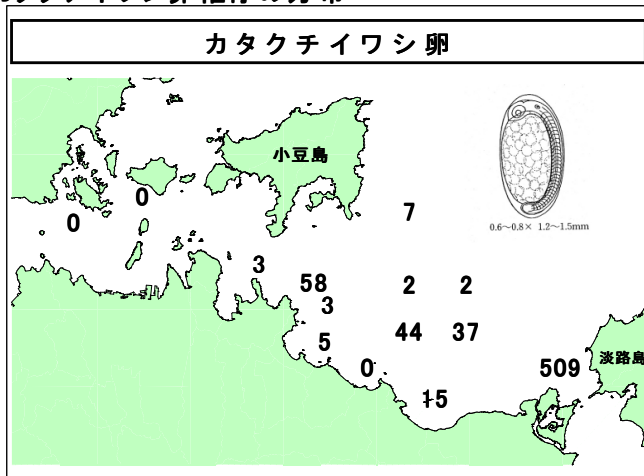
* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



カタクチイワシ卵稚仔の分布



播磨灘11定点における卵の平均出現数は16個となり、昨年同時期および前回(6/19)を上回った。卵の出現はほとんどの定点で認められ、東寄りで卵の出現が多い傾向を示した。また、定点NTでは卵の出現が数多く観察された。播磨灘11定点における稚仔の出現は3.5尾となり、昨年同時期および前回を上回った。稚仔の出現は大半の定点で認められ、播磨灘で稚仔の出現が多い傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、6月中旬以降の水温は平年を下回って推移している。